

第2次茅野市地域創生総合戦略 策定方針

1 趣旨

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2018改訂版）」（平成30年12月21日閣議決定）において、2019年度は、第1期「総合戦略」の最終年にあたることから、第1期の総仕上げに取り組むとともに、現在と将来の社会的変化を見据え、地方創生の新たな展開としての飛躍に向け、第2期「総合戦略」策定の準備を開始することが位置付けられている。

本市の第1次茅野市地域創生総合戦略においても2019年度が最終年にあたり、国の考え方にに基づき、本市における地方創生の取組を2020年度以降も継続するため、2019年度に第2次茅野市地域創生総合戦略を策定する。

2 構成

第2次茅野市地域創生総合戦略は、「茅野市人口ビジョン」及び「茅野市総合戦略」から構成する。

（1）第2次茅野市人口ビジョン

- ・茅野市における人口の現状を分析し、様々な仮定の下での将来人口推計を行う。
- ・アンケート結果を踏まえ、本市が人口減少問題に取り組むための基本的視点を整理する。
- ・以上を踏まえ、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示する。

（2）第2次茅野市総合戦略

- ・上記「茅野市人口ビジョン」を踏まえ、茅野市の特性に合った、茅野市でしかできない、茅野市でなければできない目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめる。

3 第2次茅野市総合戦略の策定方針

（1）基本方針

- ・地方創生は息の長い取組であり、第1次茅野市総合戦略で根付いた地方創生の意識を第2次茅野市総合戦略でも継続するため、基本コンセプトと5つの基本目標（施策）の基本的な枠組みを維持しつつ、現在と将来の社会的変化と、第1次茅野市総合戦略の検証を踏まえて、必要な見直しを行う。
- ・茅野市地域創生総合戦略は、第5次茅野市総合計画の政策横断プロジェクトに位置付けられているため、総合計画における基本政策と、それを構成する基本計画（分野別計画）の枠組みや施策、事業、重要業績評価指標（KPI）等との整合性を図る
- ・国の地方創生におけるSDGs推進に向けた動きを踏まえ、SDGsに関連した取組を

明記するとともに、関連した施策や事業の実施を検討する。

(2) 計画期間

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5か年とする。

(3) 策定体制及び進め方

- ・産官学金労言の関係者から構成される茅野市地域創生総合戦略進行管理有識者会議を、茅野市地域創生総合戦略有識者会議とし、進行管理と策定を行う組織とする。
- ・有識者会議では、まず第1次茅野市総合戦略の進行管理を行い、その結果を踏まえて第2次茅野市総合戦略の策定を行う。
- ・有識者会議における検討、議論を基に、庁内関係課への策定案の作成依頼を行う。
- ・作成された策定案は事務局の地域戦略課が取りまとめ、有識者会議に提示し検討、議論を行う。
- ・最終案は地域経営会議及び議会全員協議会で報告する。

(4) 市民等のニーズの把握

より多くの市民等のニーズを把握し、それを総合戦略の中に反映するため、以下のとおり意見等の聴取を行う。

① 市民アンケート

- ・20～30歳代を対象とした結婚・妊娠・出産・子育てに関するアンケート
- ・転入者・転出者に対するアンケート
- ・学生（中高生）に対するアンケート
- ・公立諏訪東京理科大学の学生に対するアンケート

② パブリックコメント

※前回実施した公立諏訪東京理科大学の学生及び市役所若手職員に対するヒアリングは実施しないこととし、アンケート対象者を増やすとともに、昨年同大学で開催したまちづくり懇談会の結果等によりニーズを把握する。

4 スケジュール

別紙参照

5 その他

ここに記載のない事項については、平成27年4月1日策定「(仮称)茅野市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針」に準じる。

以上